



外国出張報告書

平成27年11月12日

1. 出張国名 ガーナ
2. 出張月 平成27年10月
3. 出張目的 アフリカ稲作振興プロジェクトワークショップでの講演ならびに栽培試験の生育調査：B
4. 成果の概要
(1) アフリカ稲作振興プロジェクトワークショップにおいて、「Effects of seeding condition and pre-seeding treatment on germination and early growth in rice (*Oryza sativa* L.)」をテーマに発表を行った。
(2) 不耕起栽培に必要なイネの発芽・出芽・苗立ちの安定化と生育の向上のための阻害要因の解明を行うために、現地での栽培に有望なイネ2品種に播種前種子処理（プライミング）を行い、現地圃場で栽培試験を行った。本出張では、圃場において出穂前の植物体の生育調査を行い、品種と圃場によるプライミング処理効果への影響を調査した。播種後110日の株数、茎数および草丈は、AmankwatiaおよびIRBL9-W[RL]とも、値のばらつきが大きかったが、いずれの圃場においてもプライミング処理区が無処理区よりも値が高くなる傾向を示した。